宛先

沖縄県産業廃棄物に関する排出事業者調査票

令和7年度実績調

1. 本調査の対象期間は**令和7年度**（2025年4月1日～2026年3月31日）の1年間です。
2. 本調査は**事業所単位**で行いますので、調査票が送付された事業所に関して以下の質問にお答えください。
3. 本調査における**汚泥の発生量**は、**脱水機投入前の濃縮汚泥の量**を記入してください。
4. 別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考にしてください。

＜問合せ先＞
（委託先） 沖縄環境地域コンサルタント株式会社
（ 電 話 ） **098-878-1501**
（受付時間） 9:00～12:00 及び 13:00～17:00 （土日祝日を除く）

＜提出先＞
返信用封筒にて**郵送**、又は委託先の**専用メールアドレス**での提出をお願いします。
（メールアドレス） **sanpai@erc-oki.co.jp**
沖縄県環境整備課ホームページから、報告書様式（エクセル、PDF）が入手できます。
（URL） https://www.pref.okinawa.jp/kurashikankyo/gomirecycle/1004144/1021806.html

次の問1～問12についてご回答ください。
なお、太枠に囲まれた箇所につきましては、必ずご回答願います。

問1　貴事業所の概要について、ご回答ください。

会社(事業所)名	
事業所住所	
連絡先	
業種概要	
従業員数	
ご回答者 役職/氏名	

問2　有償物の発生、廃棄物の自社処分・保管等について

○ 設問A～Cは、図：有償物の定義・位置付けのA～Cに対応しています。
○ 設問A及びBは「有価物」、設問C-1、C-2及びDは「廃棄物」として回答してください。

A. 令和7年度に有償で売却した物　（事例：鉄くずを他社に売却して利益を得た。）

	1 発生していない
○	2 発生した

いずれか1つ選択し、○を記入す

→　2を選択した場合は、以下についてもご記入ください。

① 種類	鉄くず	重量	0.63 トン
売却先	（株）○○商事、（株）□□鋼業		
利用用途	再生利用		
② 種類	プラスチック類	重量	0.53 トン
売却先	（株）△△商事		
利用用途	RPF化		

※複数の記入可。

トン単位で記入すること。

C-1. 令和7年度に自社中間処理した物　（事例：汚泥を脱水した。）

	1 自社中間処理はしていない
○	2 自社中間処理した

いずれか1つ選択すること。

→　2を選択した場合は、以下についてもご記入ください。

① 種類	汚泥	重量	5.30 トン
② 種類		重量	トン
③ 種類		重量	トン

廃棄物の種類は、記入要領（7）のとおり。

問3　産業廃棄物の排出量について

いずれか1つ選択すること。

	1 増加した　→	増化率	%	主な種類	
	2 ほとんど変化はない				
○	3 減少した　→	減少率	10.0%	主な種類	汚泥

増加した理由、あるいは減少した理由をお聞かせください。

原材料費の高騰により、生産量が減少したため。

廃棄物の種類は、記入要領（7）。

問5　産業廃棄物の不適正処理防止への取り組みについて

○	1 産業廃棄物処理業の許可証を確認している	
○	2 他企業と処理業者に関する情報交換をしている	
	3 処理料金が相場より安すぎる業者には委託しないようにしている	
○	4 処理業者の施設・設備を現地確認している	
	5 産業廃棄物の発生はない（処理を委託していない）	
○	6 その他　（具体的に）	電子マニフェストを利用すること

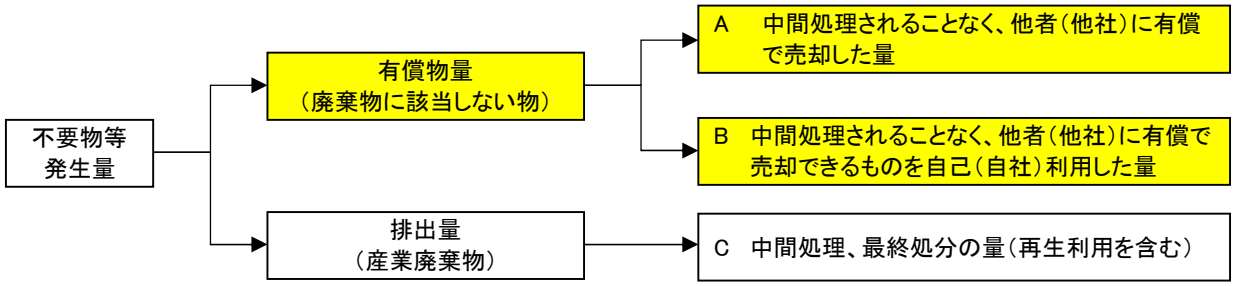
該当する項目を選択する。

自由記述

問2　有償物の発生、廃棄物の自社処分・保管等について

（1）貴事業所では、令和7年度に事業活動に伴って生じた物で、他社に有償で売却した物、あるいは自社の原料や燃料等に利用した物が発生しましたか。以下の設問AからDについてご回答ください。**該当する番号を1つ選び**、〇をつけてください。

また、発生した場合は、その種類、おおよその量、売却先（県名のみ。海外の場合は国名）、利用用途（わかる範囲で結構です）をご記入ください。（①～③の3つまで）



図：有償物の定義・位置付け

A. 令和7年度に有償で売却した物　（事例：鉄くずを他社に売却して利益を得た。）

	1 発生していない
	2 発生した

→　2を選択した場合は、以下についてもご記入ください。

① 種類		重量	トン	
売却先				※複数の記入可。
利用用途				
② 種類		重量	トン	
売却先				※複数の記入可。
利用用途				
③ 種類		重量	トン	
売却先				※複数の記入可。
利用用途				

B. 令和7年度に自社利用した物　（事例：バガスを自社ボイラの燃料に使用した。）

	1 自社利用はしていない
	2 自社利用した

→　2を選択した場合は、以下についてもご記入ください。

① 種類		重量	トン
利用用途			
② 種類		重量	トン
利用用途			
③ 種類		重量	トン
利用用途			

問2　有償物の発生、廃棄物の自社処分・保管等について

C-1. 令和7年度に自社中間処理した物　（事例：汚泥を脱水した。）

	1 自社中間処理はしていない
	2 自社中間処理した

→　2を選択した場合は、以下についてもご記入ください。

① 種類		重量	トン
② 種類		重量	トン
③ 種類		重量	トン

C-2. 令和7年度に自社埋立処分した物　（事例：燃え殻を自社で埋立処分した。）

	1 自社埋立処分はしていない
	2 自社埋立処分した

→　2を選択した場合は、以下についてもご記入ください。

① 種類		重量	トン
② 種類		重量	トン
③ 種類		重量	トン

D. 令和7年度に自社保管した物　（事例：破砕・粒度調整後に貯留ヤードで保管した。）

	1 保管はしていない
	2 保管している

→　2を選択した場合は、以下についてもご記入ください。

保管物のうち、自社未処理の保管量

① 種類		重量	トン
② 種類		重量	トン
③ 種類		重量	トン

保管物のうち、自社処理後の保管量

① 種類		重量	トン
② 種類		重量	トン
③ 種類		重量	トン

問3　産業廃棄物の排出量について

貴事業所における令和7年度の産業廃棄物の排出量は、前年度（令和6年度）に比べて変化しましたか。**該当する番号を1つ選び**、○をつけてください。また、おおよその増減率、その理由等をお聞かせください。

	1 増加した　→	増化率	%	主な種類	
	2 ほとんど変化はない				
	3 減少した　→	減少率	%	主な種類	

→　1または3を選択した場合は、増加した理由、あるいは減少した理由をお聞かせください。

問4　産業廃棄物の県外処理委託について

（1）貴事業所では、令和7年度に県外業者に中間処理を委託しましたか。**該当する番号を1つ選び**、○をつけてください。
　また、委託している場合は、主な種類、おおよその量、委託先（県名、業者名）について、ご記入ください。（①～③の3つまで）

	1 委託していない
	2 委託した

→　2を選択した場合は、以下についてもご記入ください。

① 種類		重量	トン
都道府県		業者名	
② 種類		重量	トン
都道府県		業者名	
③ 種類		重量	トン
都道府県		業者名	

（2）貴事業所では、令和7年度に県外業者にリサイクル（再生利用）を委託しましたか。**該当する番号を1つ選び**、○をつけてください。
　また、委託している場合は、主な種類、おおよその量、主な委託先都道府県名、業者名、利用用途（わかる範囲）について、ご記入ください。（①～③の3つまで）

	1 委託していない
	2 委託した

→　2を選択した場合は、以下についてもご記入ください。

① 種類		重量	トン
都道府県		業者名	
利用用途			
② 種類		重量	トン
都道府県		業者名	
利用用途			
③ 種類		重量	トン
都道府県		業者名	
利用用途			

（3）貴事業所では、令和7年度に県外業者に埋立処分を委託しましたか。**該当する番号を1つ選び**、○をつけてください。
　また、委託している場合は、主な種類、おおよその量、主な委託先都道府県名、業者名について、ご記入ください。（①～③の3つまで）

	1 委託していない
	2 委託した

→　2を選択した場合は、以下についてもご記入ください。

① 種類		重量	トン
都道府県		業者名	
② 種類		重量	トン
都道府県		業者名	
③ 種類		重量	トン
都道府県		業者名	

問5　産業廃棄物の不適正処理防止への取り組みについて

近年、産業廃棄物の不適正処理が社会問題となっています。貴事業所では、排出する産業廃棄物の不適正処理防止対策として、どのような取り組みを行っていますか。該当する番号に〇をつけてください（**複数回答可**）。

※参考資料：排出事業者責任に基づく措置に係るチェックリスト（平成29年6月：環境省）
（ https://www.env.go.jp/recycle/waste/haisyutsu.html ）

	1 産業廃棄物処理業の許可証を確認している	
	2 他企業と処理業者に関する情報交換をしている	
	3 処理料金が相場より安すぎる業者には委託しないようにしている	
	4 処理業者の施設・設備を現地確認している	
	5 産業廃棄物の発生はない（処理を委託していない）	
	6 その他　（具体的に）	

問6　処理施設の不足している産業廃棄物の種類について

沖縄県では、公共関与による産業廃棄物最終処分場を整備しており、令和元年12月に「安和エコパーク」が供用開始しています。しかしながら、依然として県内において、処理施設が不足していると感じる産業廃棄物の種類はありますか。該当する番号に〇を付けてください（**複数回答可**）。

	1 燃え殻		11 金属くず	
	2 汚泥		12 ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ及び陶磁器くず	
	3 廃油		13 がれき類	
	4 廃産・廃アルカリ		14 ばいじん	
	5 廃プラスチック類		15 廃家電類（使用済小型家電含む）	
	6 紙くず		16 感染性廃棄物	
	7 木くず		17 可燃性廃油	
	8 繊維くず		18 腐食性の廃産・廃アルカリ	
	9 動植物性残さ		19 特定有害産業廃棄物	
	10 ゴムくず		20 その他	

	21 特になし

問7　処理困難物について

貴事業所では、排出する産業廃棄物のうち、処理が困難な産業廃棄物はありますか。**該当する番号を1つ選び**、〇を付けてください。

	1 処理が困難な産業廃棄物はない
	2 処理が困難な産業廃棄物がある

→　2を選択した場合は、その産業廃棄物の種類、性状、処理困難な原因についてお聞かせください。

問8　産業廃棄物税について

（1）沖縄県では、平成18年4月1日から「産業廃棄物税（法定外目的税）」を導入しています。その税収は、産業廃棄物の排出抑制、再生利用、適正処理を推進するため、①公共関与による産業廃棄物最終処分場の周辺環境整備、②事業者等による排出抑制・リサイクル等への支援、③処理業の優良化の促進、④不法投棄等防止対策等の施策に充てています。

貴事業所では、これらの税収の使途・事業等について、どのようにお考えですか。**該当する番号を1つ選び**、○をつけてください。

※税制度・使途等については、沖縄県環境整備課のホームページをご覧ください。
（https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/seibi/7721.html）

	1 評価できる
	2 やや評価できる
	3 あまり評価できない
	4 評価できない
	5 わからない

（2）貴事業所が望む税収の使途・事業等について、**該当する番号を1つ選び**、○をつけてください。

	1 公共関与による産業廃棄物処分場の整備を強化すべき	
	2 産業廃棄物の排出抑制・リサイクル等の促進を強化すべき	
	3 産業廃棄物処理施設整備への支援を強化すべき	
	4 処理業者の優良化の促進を強化すべき	
	5 不法投棄の防止対策や監視・指導体制を強化すべき	
	6 電子マニフェストの導入等に関する支援を強化すべき	
	7 講習会の開催等により、産業廃棄物に関する法律や制度等の普及・啓発を強化すべき	
	8 その他　（具体的に）	

問9　処理費用について

近年物価が高騰傾向にありますが、貴事業所では、令和7年度に処理（収集運搬・中間処分・最終処分等）を委託した産業廃棄物の処理単価は、前年度（令和6年度）と比較して上がりましたか。

	1 上がっていない
	2 上がった

→　2を選択した場合は、単価が上がった処理の内容（収集運搬・中間処分・最終処分等）や品目や金額等について、具体的にお聞かせください。

問10　本アンケート調査の回答方法について

沖縄県では毎年、産業廃棄物の発生・排出及び処理・処分状況の産業廃棄物減量化目標に対する進捗状況を把握するとともに、産業廃棄物税の効果を検証するために必要な基礎情報を得ることを目的にアンケート調査を実施しております。

近年、電子データによる回答を希望する事業者が増えたことから、本調査においても沖縄県環境整備課ホームページから電子データを入手できるようにしております。

今後、貴事業所として本調査に回答する場合、現在と同様の紙媒体での回答を希望しますか。もしくは、電子データによる回答を希望しますか。**該当する番号を1つ選び**、〇を付けてください。

	1 紙媒体での回答を希望する
	2 電子データでの回答を希望する

問11　その他

産業廃棄物の処理等に関する課題・問題点、県に対する要望等、ご自由にご記入ください。

～　ご協力ありがとうございました。　～